

平成21年10月15日

各位

上場会社名 亀田製菓株式会社
 代表者 取締役社長 田中 通泰
 (コード番号 2220)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員経営統括本部長 佐藤 勇
 (TEL 025-382-2111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	38,000	800	900	400	18.13
今回発表予想(B)	38,400	1,000	1,260	600	27.28
増減額(B-A)	400	200	360	200	
増減率(%)	1.1	25.0	40.0	50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	36,536	445	575	210	9.42

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	700	900	500	22.66
今回発表予想(B)	33,200	1,000	1,260	700	31.83
増減額(B-A)	1,200	300	360	200	
増減率(%)	3.8	42.9	40.0	40.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	31,479	368	669	404	18.10

修正の理由

連結・個別ともに、「柿の種」、「ハッピーターン」、「手塩屋」等、菓子の製造販売事業における主力商品が好調に推移し、売上高は増収となりました。一方で原料米をはじめとする資材の調達環境は厳しい状況でしたが、生産性の向上やコストダウン策を積み重ねた結果、上記のとおり増益となったものであります。

通期の業績予想については、売上高は引き続き堅調に推移すると考えられるものの、消費動向に依然として不透明感があること、資材の調達環境も引き続き厳しい推移となると考えられることから、連結・個別ともに当初予想通りの見込みといたします。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上